松原市における
外傷サーベイランスの仕組みについて

松原市セーフコミュニティ
外傷調査・評価委員会

報告者　：　外傷調査・評価委員会　委員長　妻谷　憲一
所　属　：　松原市医師会　常任理事

外傷調査・評価委員会の構成

構成員：８名

≪医療機関≫
・松原市医師会
・松原市歯科医師会

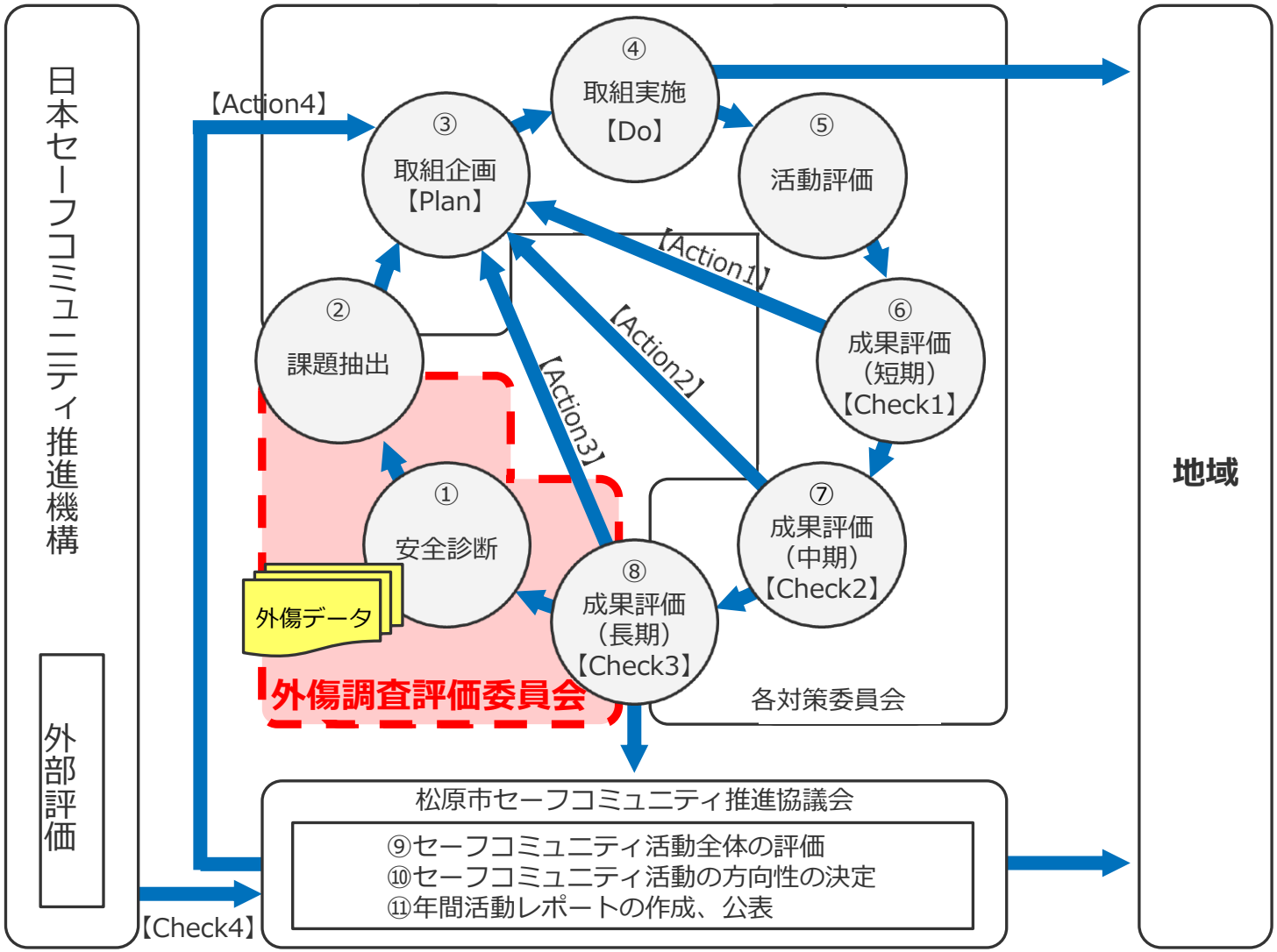
≪教育機関他≫
・阪南大学
・日本セーフコミュニティ推進機構

≪行政機関≫
・大阪府藤井寺保健所
・松原警察署
・松原市地域保健課
・松原市消防本部

外傷調査・評価委員会の取組経過

開催日		回	主な会議内容
2011年	１２月１３日	第１回	セーフコミュニティの概要について勉強会
2012年	2月２１日	第２回	外傷調査・評価委員会の役割について 松原市の外傷状況について 収集データの整理について
	4月１６日	第３回	各対策委員会の取組評価 学校でのデータ収集について 医療機関でのデータ収集について
	7月１９日	第４回	事前審査発表資料について検討 国民健康保険レセプトデータについて 自転車利用者へのアンケートについて 子どもの安全対策アンケートについて
	１０月２９日	第５回	セーフコミュニティ事前審査にて中間報告
2013年	4月２８日	第６回	国民健康保険レセプトデータについて 学校でのデータ収集について 医療機関でのデータ収集について
	6月3日	第７回	医療機関でのデータ収集について 現地審査発表資料について
	7月２４日	第８回	委員会間の情報共有のため合同会議開催

松原市セーフコミュニティ推進イメージ



外傷調査・評価委員会の役割

データの収集・分析

・調査・記録方法の改善、けが・事故の全体像の把握

地域診断

・ハイリスク層や重点課題の抽出、テーマごとの課題の抽出

継続可能な外傷調査システムの構築

・構成データの選定、データ収集計画の策定

評価方法の検討

・全体的な評価方法、対策委員会個別の評価方法の検討

対策委員会の活動支援

・外傷データの提供、評価方法の開発や提案

指標４・指標５・指標６を担っていく組織

主な収集・分析データ①

	データ名称	内容	対象テーマ
①	人口統計	全国、大阪府、松原市の人口の傾向や特徴を把握	全テーマ
②	人口動態統計	不慮の事故・自殺等による死亡原因の傾向や特徴を把握	全テーマ
③	救急搬送データ	市内で発生した事故・外傷の傾向や特徴を広く把握	全テーマ
④	消防白書等	災害や火災にかかる死傷者の傾向や特徴を把握	災害時の安全
⑤	警察統計	交通安全・犯罪・自殺にかかる死傷者の傾向や特徴を把握	交通安全 犯罪の防止 自殺予防
⑥	高齢者虐待相談データ	高齢者虐待にかかる傾向と特徴について把握	高齢者の安全

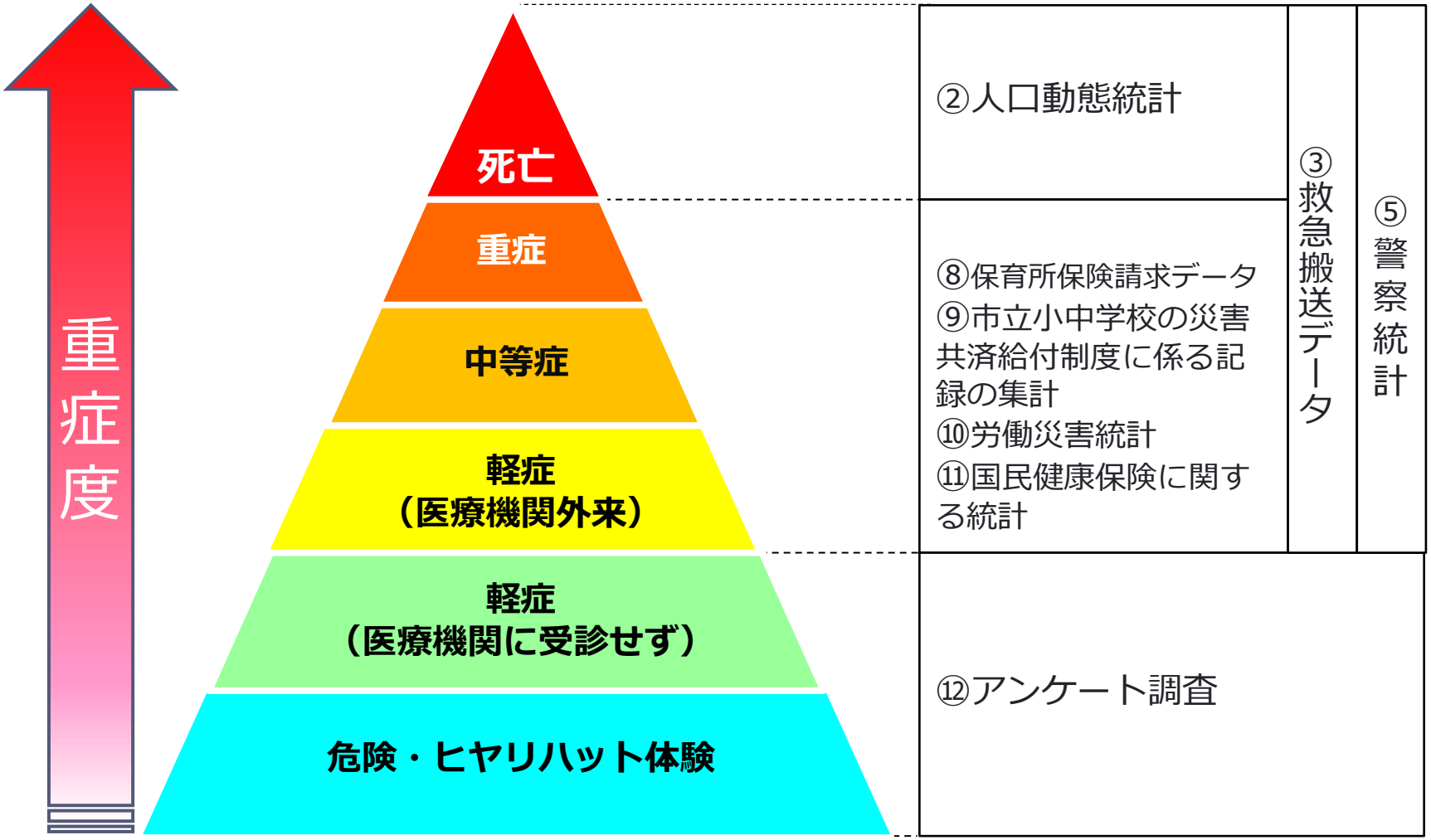
主な収集・分析データ②

	データ名称	内容	対象テーマ
⑦	児童虐待相談データ	児童虐待にかかる傾向と特徴について把握	子どもの安全
⑧	保育所保険請求データ	保育所における児童の外傷にかかる傾向や特徴を把握	子どもの安全
⑨	市立小中学校の災害共済給付制度に係る記録の集計	小中学校における外傷にかかる傾向や特徴を把握	子どもの安全
⑩	労働災害統計	労働者にかかる死傷者の傾向や特徴を把握	–
⑪	国民健康保険に関する統計	医療機関からの医療費明細から外傷による医療費の変化を把握	–
⑫	市民安心安全アンケート調査	日常生活における不安感、自己対策、過去１年間における事故や外傷の種類と発生場所を把握	全テーマ

主なデータの収集計画

外傷調査を構成する主なデータ	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
行政機関による統計データ							
② 人口動態統計	●	●	●	●	●	●	●
⑤ 警察統計	●	●	●	●	●	●	●
⑩ 労働災害に関する統計	●	●	●	●	●	●	●
⑪ 国民健康保険に関する統計	●	●	●	●	●	●	●
③ 救急搬送データ	●	●	●	●	●	●	●
⑨ 市立小中学校の災害共済給付制度に係る記録の集計	●	●	●	●	●	●	●
⑫ けが及び安心安全に関する実態調査アンケート	●			●			●

外傷の重症度とその記録種類の関係図



救急搬送データの位置づけ

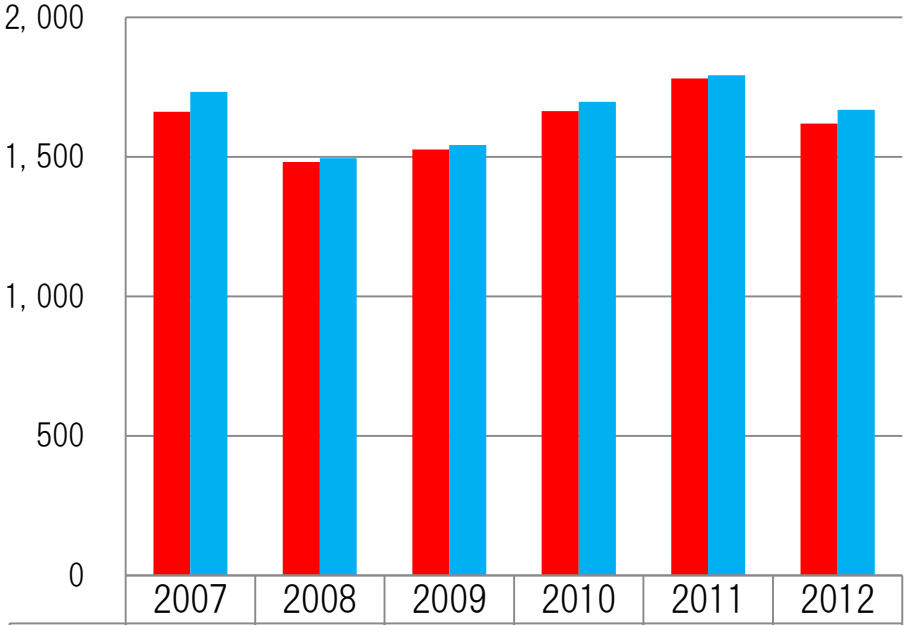
救急搬送データの特徴

●年間平均１，６００件超のデータを収集することが可能

●収集に費用が発生しない

●軽症から重症までの医療機関へつながる事故・外傷の情報を、事故種類別・年代別・傷病程度別・場所別に把握可能

外傷事故にかかる救急搬送の推移

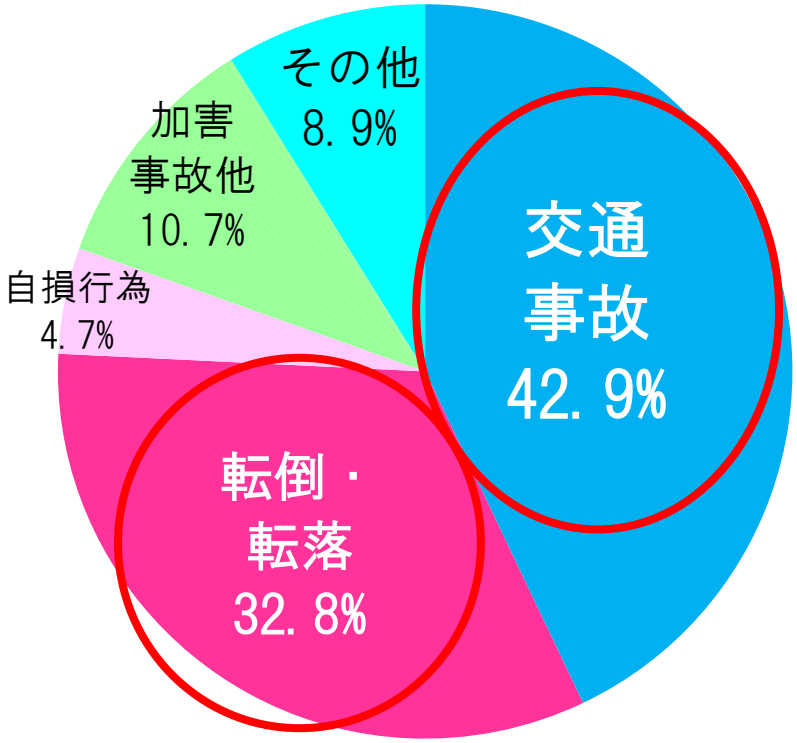


	2007	2008	2009	2010	2011	2012
件数	1, 662	1, 482	1, 526	1, 664	1, 781	1, 619
人数	1, 733	1, 495	1, 542	1, 697	1, 792	1, 668

松原市における主要な外傷データソースとして位置付け、毎年分析

松原市における事故・外傷の状況

外傷・事故種別救急搬送件数



出典：救急搬送データ（2006～2011の平均）

事故種別	件数	うち65歳以上
交通事故	**698**	134（24.0%）
転倒・転落	**534**	**341（61.1%）**
自損行為	76	9（1.6%）
加害事故	54	7（1.3%）
労働災害	49	8（1.4%）
運動競技	32	1（0.2%）
窒息 誤飲・誤嚥	29	13（2.3%）
火災事故	8	2（0.2%）
水難事故	2	1（0.2%）
その他	144	42（7.5%）
合計	**1,626**	**558（100%）**

市民安心安全アンケート調査の位置づけ

市民アンケートの特徴

●生活上の不安感や体感治安、ルール順守や自己対策の実施など、市民の意識部分の把握が可能

●医療機関につながらないヒヤリハット情報を把握することが可能

●外傷・事故の経験について記憶に頼る面がある

●サンプル数に注意が必要

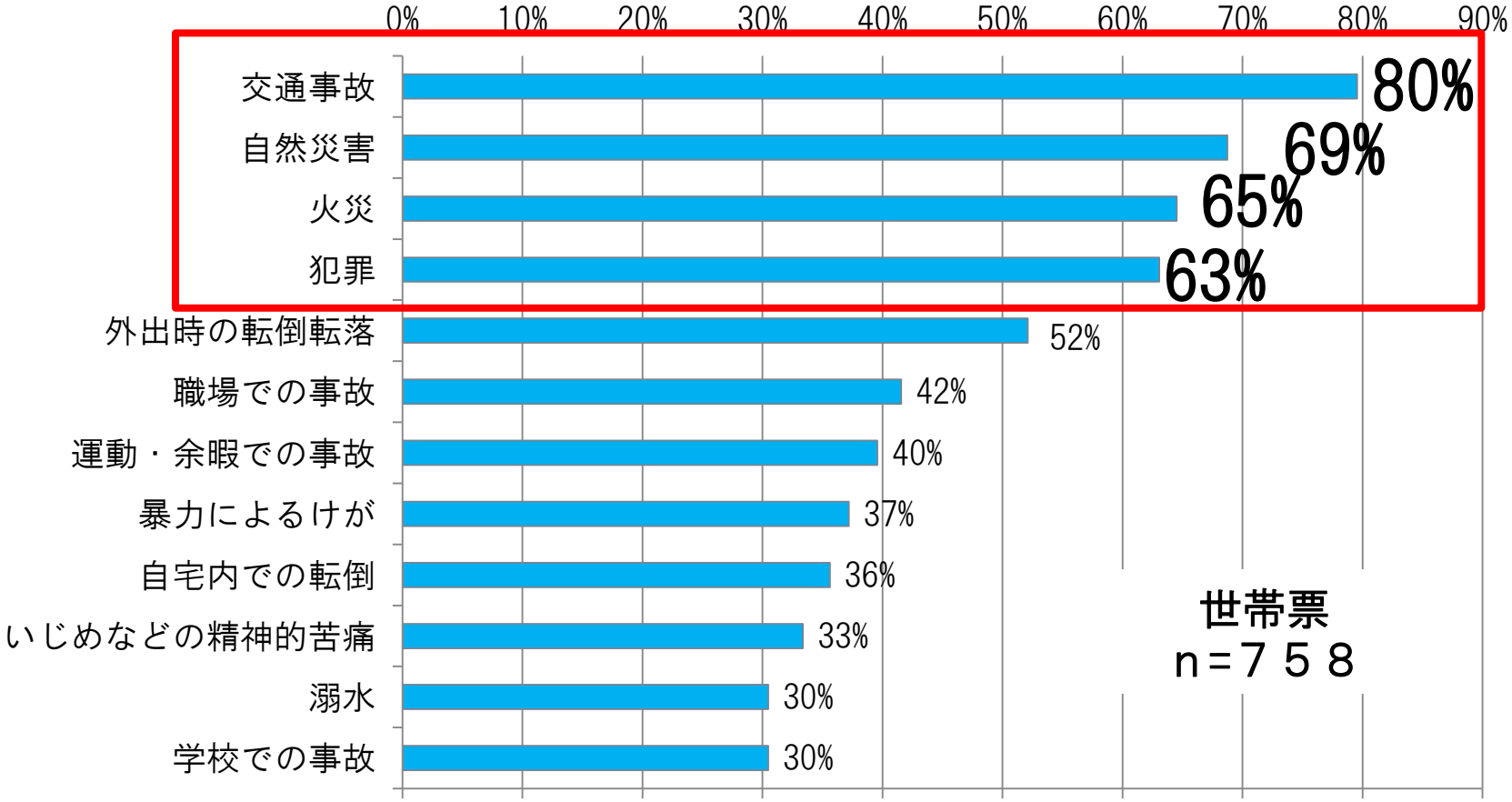
2011年8月実施

対象：1,000世帯
（無作為抽出）
回収：世帯票 359
個人票 734
*松原市在住の市職員にも実施
対象：436世帯
回収：世帯票 399
個人票 1013
【概　　要】
体感治安・自己対策
ケガなどの経験

成果指標である意識変化の把握など、補助的なものとして位置付け、
３年に１回実施を計画

『市民安心安全アンケート調査』結果より　①

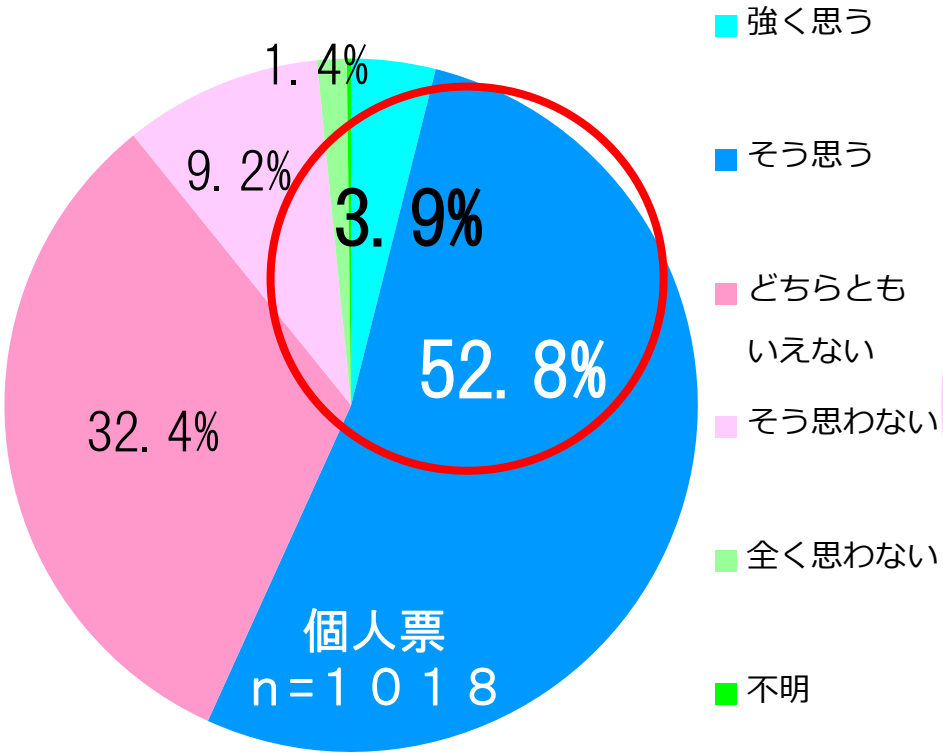
事故・犯罪・災害への不安感



『市民安心安全アンケート調査』結果より　②

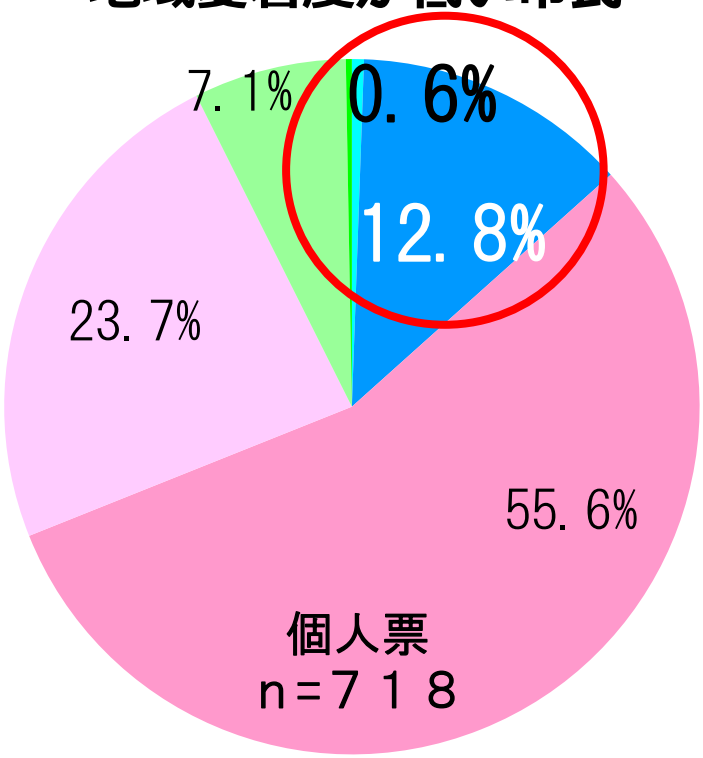
安心安全感の比較

地域愛着度が高い市民



５６．７%が安心を実感

地域愛着度が低い市民



１３．４%のみが実感

データ収集にかかる改善点①

救急搬送データ

【セーフコミュニティ取り組み当初】

●事故発生場所や、事故発生時の行動の種類が詳細ではないデータが多数存在

●データ入力する煩雑な作業

↓

≪２０１２年３月より≫

☆救急隊員による聴き取り強化、詳細な情報の記録を実現

☆詳細な事故発生場所をコード化し、集計・分析を簡易化

↓

対策委員会への効果的なフィードバックへ

救急搬送データへの改善点

救護者情報 1/4

事故種別	7 一般負傷				
氏名		ふりがな		性別	
住所				電話番号	
生年月日		年令	0	年令分類	高齢者
職業		居住分類	1 管内		
発生場所（大分類）	1 住宅				
発生場所（中分類）	101 住宅(2階以下)				
発生場所（小分類）	10101 居室(居間、応接室、寝室など)			発生階層	1 地上 1 階

コードマスター一覧選択 - Microsoft Internet Explorer

項目NO: 212 発生場所分類(小分類)

コードNO	コード名称
10101	居室(居間、応接室、寝室など)
10102	廊下(玄関などの通路を含む)
10103	階段(踊場を含む)
10104	便所
10105	浴室(シャワー室、洗面所を含む)
10106	台所(食堂を含む)
10107	屋根(屋上、物干し台、ベランダ、バルコニー等を含む)
10108	庭(テラス等を含む)
10109	その他(物置、地下室、車庫等)

選択　キャンセル

発生場所に応じたより詳細なデータ項目を追加

データ収集にかかる改善点②

市立小中学校の災害共済給付制度に係る記録の集計

【セーフコミュニティ取り組み当初】

●統計情報のみの提供しかなく、詳細なデータ分析ができない

≪２０１２年６月より≫

☆小中学校での調査を開始し、小学校１校で入力システムを試験導入

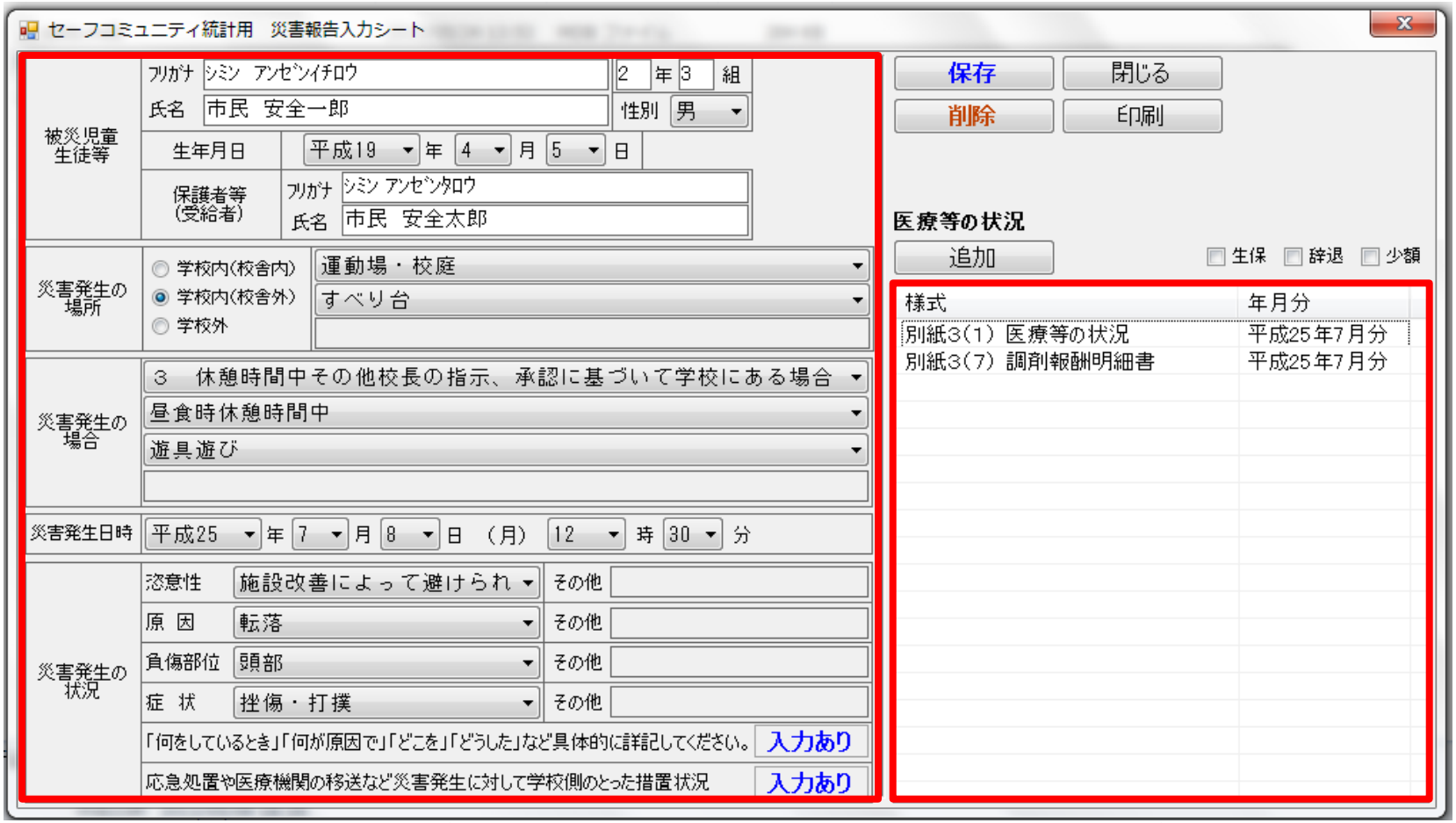
≪２０１３年４月より≫

☆全市立小学校にて、入力システムを導入・データ収集開始

継続的なデータ収集システムの確立

各小学校へのフィードバックにつなげていく

学校の外傷データ入力システムの紹介



外傷に係る基本情報を記録

医療費等の情報を記録

対策委員会への支援活動実績

対策委員会が設定した予防活動への提案

例）『自殺予防対策委員会』の高年齢層男性への自殺対策

➡ **高齢者と接する機会の多い窓口職員へのゲートキーパー養成研修の実施につながる**

成果指標を把握するためのアンケート

☆『子どもの安全』
『交通安全』

検討し、内容について提案

各対策委員会の評価指標の設定

- 活動指標と成果指標の認識
- 成果指標における短中長期の考え方

各対策委員会で再設定へ

今後の課題

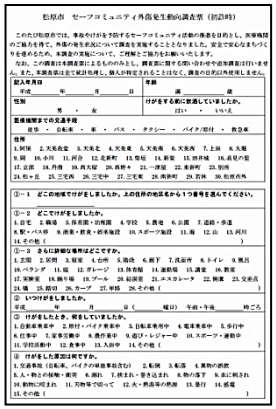
医療機関での外傷発生動向調査

●初診患者に対する外傷・事故発生時の詳細アンケート
医師による診察結果の記入

・医療機関への負担は大きくないか？
・継続的なデータ収集は可能か？

検　討

☆負担の少ない調査様式を作成



松原市　セーフコミュニティ外傷発生動向調査票（初診時）

このたび松原市では、事故やけがを予防するセーフコミュニティ活動の推進を目的とし、医療機関のご協力を得て、外傷の発生状況について調査を実施することとなりました。安全で安心なまちづくりを進めるため、本調査の実施について、ご理解とご協力をお願いいたします。
なお、この調査は本調査票によるもののみとし、調査票に関する問い合わせや追加調査は行いません。また、本調査票は全て厳封処理し、個人が特定されることはなく、調査の目的以外使用しません。

記入年月日　平成　年　月　日
年齢　歳
性別　男・女
けがをする前に飲酒していましたか。　はい・いいえ
直後機関までの交通手段
徒歩・自転車・車・バス・タクシー・バイク/原付・救急車
住所
1.阿保　2.天美北堂　3.天美北　4.天美東　5.天美南　6.天美西　7.上新　8.大堀
9.岡　10.小川　11.河合　12.北新町　13.恵我　14.新堂　15.田井城　16.高見の里
17.立部　18.丹南　19.西大堀　20.西野々　21.一津屋　22.南新町　23.別所
24.松ヶ丘　25.三宅西　26.三宅中　27.三宅東　28.南新町　29.若林　30.松原西外

①－1　どこの地域でけがをしましたか。上の住所の地区名から１つ番号を選んでください。

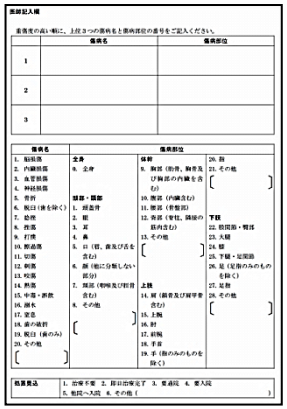
①－2　どこでけがをしましたか。
1.自宅　2.職場　3.商店街・市場周　4.学校　5.病院　6.公園　7.道路・歩道
8.駅・バス停　9.商業・飲食・娯楽施設　10.スポーツ施設　11.海　12.山　13.河川
14.その他（　　）

①－3　さらに詳細な場所はどこですか。
1.玄関　2.居間　3.寝室　4.台所　5.廊下　6.風呂　7.洗面所　8.トイレ　9.風呂
10.ベランダ　11.庭　12.ガレージ　13.作業場　14.運動場　15.講堂　16.教室
17.実験室　18.踊り場　19.プール　20.給湯室　21.ロッカールーム　22.駐車　23.交差点
24.橋　25.階段　26.カーブ　27.車路　28.その他（　　）

② いつけがをしましたか。
平成　年　月　日（　　曜日）午前・午後　時ごろ

③ けがをしたとき、何をしていましたか。
1.自動車運転中　2.原付・バイク運転中　3.自転車使用中　4.電車乗車中　5.歩行中
6.仕事中　7.家事労働中　8.遊び運動中　9.遊び・レジャー中　10.スポーツ・運動中
11.学校活動中　12.食事中　13.入浴中　14.その他（　　）

④ けがをした原因は何ですか。
1.交通事故（自転車、バイクの単独事故含む）　2.転倒　3.転落　4.異物の誤飲
5.人・物との接触・衝突　6.溺れ　7.挟まれ・巻き込まれ　8.物の落下　9.虫に刺され
10.動物に咬まれ　11.刃物等で切って　12.火・熱湯等の熱傷　13.暴行　14.感電
15.その他（　　）



医師記入欄

重傷度の高い順に、上位３つの部位を１番内部位の番号をご記入ください。

	傷病名	傷病部位
1		
2		
3		

傷病名	傷病部位		
1. 脳損傷	全身	体幹	29. 脾
2. 内臓損傷	6. 全身	8. 胸部（肋骨、胸骨及び胸部の内臓を含む）	21. その他
3. 血管損傷		10. 腹部（内臓含む）	[　　]
4. 神経損傷		11. 腰部（骨盤部）	
5. 骨折	頭部・顔部	12. 背部（脊髄、腰椎の部内含む）	下肢
6. 脳以外（後を除く）	1. 頭蓋骨	[　　]	22. 股関節・臀部
7. 筋肉	2. 眼	13. その他	23. 大腿
8. 腱	3. 耳	[　　]	24. 膝
9. 打撲	4. 鼻		25. 下腿・足関節
10. 脳血腫	5. 口（唇、歯及び舌を含む）		26. 足（足指のみのものを除く）
11. 切傷	[　　]		27. 足指
12. 刺傷	6. 顔（他に分類しない部分）		28. その他
13. 咬傷	7. 頭部（脳神経及び眼球含む）	上肢	[　　]
14. 熱傷	[　　]	14. 肩（鎖骨及び肩甲骨含む）	
15. 中毒・薬物		15. 上腕	
16. 溺水		16. 肘	
17. 窒息		17. 前腕	
18. 麻痺・脳卒中		18. 手首	
19. 脳以（後のみ）を除く）		19. 手（指のみのものを除く）	
20. その他			
[　　]			

搬送先	1. 出発不要　2. 即日治療完了　3. 要通院　4. 要入院
	5. 他院へ入院　6. その他（　　）

2013年７月より、松原市医師会の協力で試行

今後の方向性

セーフコミュニティ全体に関わる部分

・引き続き『子どもの安全』・『高齢者の安全』・『交通安全』・『犯罪の防止』・『自殺予防』・『災害時の安全』を６つの重点課題として位置づけ、予防活動による成果を追跡

・データ収集計画に沿った継続的なデータ収集分析を実施

・分析データや各対策委員会の取り組みの成果を、広報紙やホームページ・SNS等を通じて市民にわかりやすく情報提供

対策委員会への活動支援

・収集分析した外傷データを継続して提供

・予防活動の評価内容をもとに、予防活動への提案を実施

松原市

ご清聴ありがとう
ございました

絆でつくる　みんなのセーフコミュニティ　まつばら